

【概要】

- ◆ 令和6年1月に発生した能登半島地震では、水道・下水道設備に大きな被害がありトイレが使用できなくなったため、災害時のトイレの重要性について、大きく報道されました。
- ◆ 災害時に適切な設備がない場合、家庭や避難所の衛生状態が悪化し、感染症のリスクが高まる可能性があります。
- ◆ 災害用仮設トイレの組み立て展示を通じて、地域の方々に正しい使用方法を学んでいただき、災害時の衛生状態を改善する知識を身につけていただくことを目的としています。

【実施内容】

- ① 災害用仮設トイレの展示
(担当者による説明)
- ② パネル展示
- ③ 災害時のごみの排出方法パンフレットの配布

【所要時間】

設置：約30分（パネル展示等含む）

展示：訓練時間中

片付け約30分



(展示イメージ)

災害用仮設トイレの展示について（組立式トイレ）

環境局の備蓄トイレ（組立式トイレ）

〔特徴〕

- 簡易テント内に、便器・便槽を設置
- **汲み取り不要で、5,500回以上※**
連続使用可能
- **バリアフリー**のため、高齢者や障がいのある方にも使いやすい構造
- **テントにより個室**となるため、性別を問わずに利用可能
- 組立てに要する時間 2名で約15分
- マンホールに接続すれば汲み取り不要
(ただし下水道が使用可能な場合)
- 組み立て方 YouTube環境局アカウント「仮設トイレ作ってみた(東南環境事業センター)」
<https://www.youtube.com/watch?v=Gdn1rGjqcrY>

